

# 大学生の自己教育力に関する研究 (9)

情報活用の実践力および情報化社会レディネスとの関係

清水益治

富永美穂子

森 敏昭

石田 潤

(大阪樟蔭女子大学)

(広島大学)

(神戸商科大学)

**目的** 本研究の目的は、大学生の自己教育力と、情報活用の実践力および情報化社会レディネス尺度との関係を重回帰分析を用いて調べることである。どちらの尺度についても  $R$  の値が高ければ、大学までに自己教育力を育てることは、情報化時代に役立つ力を伸ばすことにもつながると考えられる。

**方法 調査対象** 西日本にある7つの大学の学生計789名(男248名、女541名)を調査対象とした。

**調査内容** ①自己教育力尺度 森ら(2001)による尺度。この尺度は自己教育力に関する7つの特性(課題意識、主体的思考、学習の仕方、自己評価、計画性、自主性、自己実現)を、それぞれ5項目ずつ、計35の質問項目について「はい、いいえ」の2件法で答える尺度である。

②情報活用の実践力尺度 高比良ら(2001)による尺度。この尺度は収集力(項目数10)、判断力(8)、表現力(8)、処理力(8)、創造力(10)、発信・伝達力(10)という6つの下位尺度に属する計54の質問項目について「まったく当てはまらない」から「非常に当てはまる」までの7件法で答える尺度である(以下、実践力尺度)。

③情報化社会レディネス尺度 小林ら(2001)による尺度。この尺度は情報や情報技術が果たしている役割(以下、役割。項目数10)、情報や情報技術が及ぼしている影響(以下、影響。14項目)、情報モラルの必要性・情報に対する責任(以下、責任。24項目)からなり、各項目に対して「はい」、「いいえ」、「わからない」の3件法で答える尺度である(以下、レディネス尺度)。

**手続き** これらの3つの尺度と他の尺度を組み合わせた冊子を作成し、平成12年12月から13年1月にかけて、各大学の教室で実施した。なお分析にはSTATISTICAを用いた。

**結果と考察** 自己教育力は「はい」を1点、実践力尺度は望ましい方向を高得点、レディネス尺度は「はい」または「いいえ」の回答のうち、望ましい方を1点として得点化した。表1は自己教育力の特性を独立変数、実践力尺度とレディネス尺度における各下位尺度を従属変数として行った重回帰分析の結果を示したものである。重相関係数はいずれも有意であったが、実践力尺度の方がレディネス尺度よりも値が大きく、中でも表現力と創造力では非常に高い値であった(決定係数は.40以上)。この結果は、自己教育力を育てることが、情報化時代に役立つ力、中でも情報を活用する力、特に表現力と創造力を伸ばすことにつながることを示唆している。

説明変数である自己教育力の特性間の比較をするために標準回帰係数を見ると、課題意識は9つの下位尺度中、7つの下位尺度で有意であった。このことから課題意識は、自己教育力の中で情報化時代に役立つ力に最も関係が深いと言える。

自己評価は、レディネス尺度のすべての下位尺度に関して標準回帰係数が有意であり、計画性は実践力尺度のほとんどの下位尺度で同係数が有意であった。これらの結果から、自己評価はレディネス尺度、計画性は実践力尺度と関係が深いと考えられる。

表1. 重回帰分析の結果(標準回帰係数 $\beta$ )

説明変数	収集力	判断力	表現力	処理力	創造力	発信・伝達力	役割	影響	責任
課題意識	.270***	.153***	.057	.149***	.103**	.091*	.039	.123**	.201***
主体思考	.242***	.338***	.030	.292***	.401***	-.002	.088	.178***	.056
学習仕方	.081*	.046	.449***	.067	-.028	.181***	.005	.050	.080*
自己評価	.115***	.012	.080*	-.018	-.045	.069	.177***	.098*	.148***
計画性	.105**	.109**	.197***	.143***	.016	.216***	-.042	.015	-.001
自主性	.021	.054	.007	.145***	.277***	.117**	-.019	.078*	-.063
自己実現	.037	-.040	.062*	.025	.084**	.090*	.107**	.053	.101**
$\frac{R}{F^b}$	.581*** 56.84	.496*** 36.34	.639*** 76.88	.545*** 47.24	.637*** 76.38	.497*** 36.64	.264*** 8.33	.340*** 14.61	.383*** 19.12

a: \* p<.05 \*\* p<.01 \*\*\* p<.001 b:df (7, 781)